

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
1	国際交 流・国際 協力活動 の推進	(1)国際交 流イベント の開催		県民に地域の現状や地球規模の課題を楽しみながら知ってもらい、 自分にできることは何かを考え、活動のきっかけとなるイベントを開 催する。 また、イベントを通して、県民の国際交流・国際協力意識の向上、外 国人県民との相互理解や交流、国際協力の取組をより一層進めると ともに、NPO/NGO等の活動をPRすることで、NPO/NGO等に対す る理解を深め、NPO/NGO等同士のネットワークづくりのための情報 交換や交流の場を提供する。	1,910千円	1,896千円	2,089千円	17(A)	引き続き、事業を継続してい く。	交流
				国際交流イベント等開催事業	開催日:令和元年10月12・ 13日(台風により中止) ※例年約6万人来場	開催日:令和2年12月12日 ～令和3年1月11日(オンラ イン) 閲覧回数:約5万回	開催日:令和3年11月27日 ～令和4年1月10日(オンラ イン) 閲覧回数:約6万回			
2	国際交 流・国際 協力活動 の推進	(2)市町村・ 市町国際交 流協会及び 民間国際交 流団体等の 活動への支 援		県民が多様な文化や価値観に触れ、国際理解を深めるとともに、地 域や地球の課題に気づききっかけをつくるため、市町国際交流協会 やNPO/NGO等との共催事業を実施し、この地域の国際理解・国際 交流の推進を図る。 さらに県内の草の根の国際交流活動の活性化を図るため、民間国 際交流団体等が行う国際交流や多文化共生を推進するための事 業などに対して、補助するとともに、活動場所として当協会の「国際 交流団体交流室」を無償で提供するなど、民間の国際交流活動を行 う団体を支援する。	1,273千円の一部	630千円	1,648千円	16(A)	引き続き、事業を継続してい く。	企画情報
				市町村・市町国際交流協会及び民間国際交流団体等支援事業	【補助金】 募集回数:3回 交付決定数:13件 補助額:1,189千円 【後援名義】 21件(うち7件がコロナにより中止) 【共催事業】 8件実施 【団体交流室】 28団体、292回の利用	【補助金】 募集回数:3回 交付決定数:17件(うち9件がコロナにより中止) 補助額:557千円 【後援名義】 10件 【共催事業】 2件実施 【団体交流室】 24団体、155回の利用	【補助金】 募集回数:2回 交付決定数:17件(うち5件がコロナにより中止) 補助額713千円(現時点) 【後援名義】 7件(うち1件がコロナにより中止) 【共催事業】 3件実施 【団体交流室】 14団体、151回の利用(2月末時点)			
3	国際交 流・国際 協力活動 の推進	(3)国際交 流推進功労 者の顕彰	人材育成	長年にわたり地域でボランティア等として国際交流・多文化共生の推進 に尽力し、社会に多大な貢献をしている個人や団体は、大変貴重な人材 であり、またそういった人材を増やすことで社会の国際感覚・多文化共生 に対する理解を深め、社会全体の機運を醸成することにつながる。その ため、長年にわたり活動し、顕著な功績のある個人や団体を表彰すること で、その功労に報いるとともに、さらなる活躍を促す。 また、その功績を広く周知することで、後に続く者への励みや他の模範と なり、人材の増加と、国際交流・多文化共生社会の機運の醸成を図る。	241千円	312千円	318千円	19(A)	引き続き、事業を継続してい く。	企画情報
				国際交流推進功労者表彰事業	【表彰数】 個人:4 団体:4	【表彰数】 個人:3 団体:7	【表彰数】 個人:3 団体:3			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
4	国際交 流・国際 協力活動 の推進	(4)ボラン ティア登録 制度の充実 強化	人材育成	国際化推進の担い手としてのボランティアの重要性が増している中、県民が主体的に活動できる場を提供するため、語学やホームステイ、事業のサポートといったボランティアの募集を強化し、当協会に登録されたボランティア(以下「登録ボランティア」という)の充実を図り、国際交流・国際協力・多文化共生活動に参加するきっかけづくりを推進する。特に、災害ボランティアのあり方については、早急に検討を進め、必要な施策を講じることとする。	191千円	78千円	1,278千円の一部	15(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				ボランティア制度の運営・活用事業	登録者数(延べ) 語学:370名 ホームステイ:87名 サポート:172名	登録者数(延べ) 語学:270名 ホームステイ:70名 サポート:205名	登録者数(延べ) 語学:279名 ホームステイ:70名 サポート:205名			
5	国際交 流・国際 協力活動 の推進	(5)外国公 館等との共 催事業等による連携強化		在大阪・神戸フィリピン共和国総領事館等との共催事業として、パスポートの更新、結婚・出生の届出などの事務処理を当協会の施設で行うことで、外国人県民の利便性を図る。	1,273千円の一部	32千円	0千円	9(C)	必要に応じ、外国公館等との連携を検討する。	企画情報
				外国公館等との共催事業の実施	7月20日(土)、10月19日(土)、12月14日(土)の年3回在大阪フィリピン総領事館との共催により移動領事館を実施した	コロナの影響により、大阪フィリピン総領事館との共催による移動領事館は中止となった	在名古屋フィリピン総領事館が開設されたことに伴い、移動領事館は開催する必要がなくなった			
6	国際交 流・国際 協力活動 の推進	(6)ブラジ ル・アルゼ ンチン愛知 県人会との 連携・支援		本県出身でブラジル及びアルゼンチンへ移住した方たちによる県人会を通じ、両国への移住者に対する支援を行う。また、両県人会の活動を紹介することで、日系移民についての県民の理解を促すとともに、県人会を通じた両国との親交を深める。	967千円	862千円	1,004千円	15(A)	引き続き、事業を継続していく。	企画情報
				ブラジル・アルゼンチン愛知県人会との連携・支援	両県人会に業務委託クリスマスカード送付	両県人会に業務委託クリスマスカードはコロナにより送付不可	両県人会に業務委託クリスマスカード送付			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票No.	施策の柱	施策	重点施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
7	国際交流・国際協力活動の推進	(7)国際協力普及啓発の推進	人材育成	身近な国際協力活動として、フェアトレード等を紹介する講座を開催し、県民が途上国の貧困や人権・環境問題などの課題や解決方法を知り、考え、国際協力活動に対する取り組みのきっかけづくりとなる場を提供する。	115千円	65千円	183千円	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				フェアトレード普及啓発事業	開催日:令和元年5月25日(土) 参加者数:20名 テーマ:薔薇	開催日:令和2年6月6日(土) ※コロナにより中止 テーマ:バナナペーパー	開催日:和3年5月12日(土) ※令和2年度のをオンラインで実施 参加者数:21名 テーマ:バナナペーパー			
8	国際交流・国際協力活動の推進	(8)国際貢献支援の推進		緊急かつ深刻な貧困、災害等の諸問題を抱えた地域に対して、必要に応じて義援金、緊急物資等を供与するほか、災害時における募金活動を行う。	0千円	0千円	512千円	9(C)	趣旨に沿った形での事業の実施について検討する。	企画情報
				国際貢献支援事業	実績なし	実績なし	実績なし			
9	多文化共生の地域づくりの推進	(1)多文化ソーシャルワーカーによる相談・情報提供及び支援の充実	安心安全	外国人県民が日本人と同じ制度やサービスを利用でき、本県で安心して暮らすことができるよう、多文化ソーシャルワーカーが日常生活に必要な情報を多言語で提供する。また、在留資格や言語など外国人特有の課題を抱えていたり、様々な問題が重なり合うなど、自分たちでは解決できない厳しい状況にある外国人県民に対しては、関係する市町村の各種窓口や社会福祉等の専門機関と連携しながら問題解決に向けた自立支援までを継続的に行う。 近年では、特にベトナムやネパール、インドネシアなどの東南アジア出身者の増加が顕著となっており、市町村や市町国際交流協会等では対応しきれない言語も出てきているため、当協会において、新たにこれらの言語による対応を開始する。 また、トリオフォンやスカイプなどによる通訳を行うなど、他団体での相談に対する支援を充実させるとともに、多文化ソーシャルワーカーの活動について広く普及啓発を行う。	30,312千円	36,058千円	46,638千円	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	相談
				外国人相談・多文化ソーシャルワーカー事業	相談、情報提供、支援:1,912件 弁護士相談:53件 専門相談:7件	相談、情報提供、支援:2,790件 弁護士相談:80件 専門相談:34件	相談、情報提供、支援:2,829件 弁護士相談:68件 専門相談:30件 ※1月末現在			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
10	多文化共生の地域づくりの推進	(2)外国人相談担当者向け対応ハンドブックの作成等による相談支援の強化	人材育成 安心安全	当協会では、外国人県民にかかわる様々な分野の相談窓口や機関で、外国人県民の背景を理解したうえで適切に相談対応が行われるようにするため、2015(平成27)～2017(平成29)年にかけて、外国人県民からの相談対応時に役立つ情報をまとめたハンドブック「相談窓口担当者のための『多文化』ってこういうこと」①結婚・離婚編、②子どもの教育編、③社会福祉編をそれぞれ作成し、市町村や国、県の各種窓口や市町国際交流協会などの外国人相談窓口、社会福祉協議会をはじめとする社会福祉関係機関等へ配布した。 外国人県民の状況は年々変化しており、今後、各機関・団体には一層複雑な問題や新たな課題を抱える外国人県民からの相談が増加することが見込まれる。当協会としては、引き続き、こうしたニーズの把握に努めるとともに、より充実した相談対応ハンドブックの発行等により、各窓口での相談業務を支援する。	615千円	934千円	1,103千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	相談
				外国人相談・多文化ソーシャルワーカー事業	結婚・離婚編 発行部数:1,500冊	子どもの教育編 発行部数:2,200冊	社会福祉編(上巻) 発行部数:2,100冊			
11	多文化共生の地域づくりの推進	(3)県民の多文化共生社会づくりへの理解促進	人材育成	多文化共生社会の実現のためには、日本人と外国人の双方が多文化共生の意義や異なる価値観を認め、それぞれの立場で多文化共生の地域づくりに参画することが大切である。そのための第一歩として、相互理解を深めるための講座やイベントを開催する。 特に、次世代を担う子どもたちなどへの普及啓発に力を入れていくとともに、事業に参加した日本人・外国人県民が、地域の活動へ積極的に参画できる機会づくりを併せて進める。	392千円	68千円	401千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	共生
				県民の多文化共生社会づくりへの理解促進事業	日時:令和元年8月3日(土) 参加者:33名 テーマ:「ドキドキ♥わくわくあっという間に世界一周??」	日時:令和2年12月19日(土) 参加者:25名 内容:「多文化共生」について理解を深めるオンライン講座	日時:令和3年12月11日(土) 参加者:15名 内容:「親子で多文化共生について考えよう!」			
12	多文化共生の地域づくりの推進	(4)災害時の支援体制の充実強化	人材育成 安心安全	災害時に、外国人被災者を直接支援する県内市町村に対し、情報提供や通訳・翻訳などの言語面での支援をするために愛知県が設置し、県と協会が共同で運営する「愛知県災害多言語支援センター」について、災害時の運営を円滑に進めるため、平時から県、市町村と共同で訓練や研修等を実施する。 また、協会独自でも災害時に外国人県民向けの相談対応や情報提供などを継続して行えるよう、多言語で支援を行える人材を育成する研修を行い、人員の確保・育成に努めるとともに、実際に起こりうる相談・情報提供、翻訳などの活動を想定した実践的な訓練や災害対応にかかる情報収集を行う。	86千円	49千円	58千円	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	企画情報
				愛知県災害多言語支援センター運営事業	災害多言語支援センター訓練日:令和元年9月1日(日) あいち多文化共生センター防災訓練日:令和2年2月29日(土)	災害多言語支援センター訓練日:令和2年9月6日(日) あいち多文化共生センター防災訓練日:令和3年2月27日(土)	災害多言語支援センター訓練日:令和元年8月29日(日) あいち多文化共生センター防災訓練日:令和4年3月12日(土)			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

別紙

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
13	多文化共生の地域づくりの推進	(5)外国人児童生徒向け日本語教室への支援	日本語教育	外国人児童生徒の日本語学習環境の充実を図るため、地域のNPO/NGOなどが実施する外国人児童生徒を対象とした日本語教室に対して、運営に必要な経費の一部を助成する。	19,631千円	16,754千円	17,938千円	18(A)	引き続き、事業を継続していく。	共生
				日本語学習支援基金事業(日本語教室学習支援事業)	認定:55団体96教室 開催日数:5,548日 学習者数:10,123人	認定:53団体92教室 開催日数:5,385日 学習者数:7,839人	認定:49団体86教室 開催日数:4,457日(4月～1月) 学習者数:6,940人(4月～1月) ※基金残額により実施			
14	多文化共生の地域づくりの推進	(6)外国人学校での日本語指導への支援	日本語教育	外国人学校の児童生徒に質の高い日本語学習環境を提供するため、外国人学校が外国人児童生徒に日本語指導をするためにかかる日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成するとともに、日本語教材の提供を行う。	4,193千円	4,132千円	6,384千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	共生
				日本語学習支援基金事業(日本語指導者雇用助成事業・日本語学習教材給付事業)	認定:4校 雇用助成時間数:2,039時間 学習生徒数:8,018人(延べ)	認定:4校 雇用助成時間数:1,887時間 学習生徒数:5,940人(延べ)	認定:5校 〈R3.4～R3.7〉 雇用助成時間数:1,603時間 (4月～1月) 学習生徒数:5,335人(延べ) (4月～1月) ※基金残額により実施			
15	多文化共生の地域づくりの推進	(7)外国人児童生徒の日本語能力試験受験への支援	日本語教育	外国人児童生徒が意欲をもって日本語学習に取り組めるようにするため、(公財)日本国際教育支援協会等が実施する日本語能力試験の受験料相当額を助成する。	251千円	165千円	0千円	6(D)	中止する。	共生
				日本語学習支援基金事業	日本語教室10団体43人と外国人学校2校2人に助成【助成額】 5,500円(オンライン申込) 6,000円(郵送申込)	日本語教室5団体28人、外国人学校1教室2人に助成【助成額】 5,500円(オンライン申込) 6,000円(郵送申込)	基金残額を教室運営等にあてるため、実施していない			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
16	多文化共生の地域づくりの推進	(8)学校と外国人児童生徒向け日本語教室との連携促進	人材育成 日本語教育	教員や日本語ボランティアなどを対象に、日本語指導に関するスキルアップと情報交換ができる共同研修を開催する。 研修では、参加者間の現状と課題の共有や、外国人児童生徒の実情に関する基礎的な講義のほか、教育現場からのニーズの高いテーマを積極的に取り上げることとする。	1,674千円の一部	1,916千円の一部	260千円	7(D)	No.29「(10)子ども向け日本語教室で活動するボランティアのスキルアップ」に統合して実施していく。	交流
				外国人児童生徒日本語教育推進事業	知多市と共催で外国人児童生徒の現状等についての講義を開催 【1日目】 令和元年8月1日(木) 【2日目】 令和元年8月27日(火) 2日間参加者:50人	令和2年度以降は、3(10)外国人児童生徒日本語教育推進事業(スキルアップ)(No.29)に統合した	3(10)外国人児童生徒日本語教育推進事業(スキルアップ)(No.29)に統合した			
17	多文化共生の地域づくりの推進	(9)外国人児童生徒への進路指導等の支援	人材育成 安心安全	外国人児童生徒及び保護者を対象とした教育相談会を開催し、日本の教育制度等について情報提供するとともに、日ごろの教科学習や日本語学習などに関する悩みや解決策について、学校・NPO等の外国人児童生徒指導関係者とともに考える機会を提供する。	1,674千円の一部	1,916千円の一部	199千円	18(A)	引き続き、事業を継続していく。	共生
				外国人児童生徒日本語教育推進事業	みよし市や岡崎市と共催で教育懇談会を実施 【みよし市】令和元年8月31日(土) 参加者:34名 【岡崎市】令和元年10月27日(日) 参加者:56名	大府市や豊川市と共催でオンラインによる講義等を配信 【大府市】令和2年10月26日(火)～11月30日(月) 視聴回数:延べ687回 【岡崎市】令和2年10月26日(月)～令和3年1月4日(月) 視聴回数:延べ261回	新城市・新城市国際交流協会と共催でオンラインによる教育懇談会を実施 日時:令和3年8月21日(土) 参加者:17名			
18	多文化共生の地域づくりの推進	(10)あいち国際プラザにほん語教室の開催	人材育成 日本語教育	「日本語ボランティア入門講座」修了生等の実地研修の場とともに、外国人県民の日本語学習の支援及び日本における生活相談の場として、大人向けの日本語教室を開催する。	1,337千円の一部	73千円の一部	80千円	18(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				プラザにほん語教室の開催	第1期:4月9日(火)～7月6日(土) 全12回(学習者延べ150名) 第2期:9月10(火)～12月6日(金) 全11回～13回(学習者延べ167名) 第3期:1月7日(火)～3月17日(月) 全9回～10回(学習者延べ110名) すべて対面で実施 ボランティア数53名 ※第3期の後半3回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止	第1期及び第3期:新型コロナウイルス感染拡大のため中止 第2期:10月6日(火)～12月1日(火) 全8回、対面で実施(学習者延べ68名) ボランティア数55名	第1期:対面式は1回のみ実施、5月14日(金)～6月19日(土) 全6回、オンラインで実施 第2期:9月21日(火)～11月30日(火) 全10回、オンラインで実施 第3回:対面式は火クラスのみ1回実施(1月11日) 1月18日(火)～3月25日(金)はオンラインで実施			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である)
表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名

個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
19	多文化共生の地域づくりの推進	(11)先進的な日本語教育の取組等による日本語教室への支援	人材育成 日本語教育	日本語がほとんど話せない外国人県民への日本語指導等、先進的なテーマに取り組み地域のモデルとなりうる日本語教室を開催し、得られた成果やノウハウを広く発信することで、地域の日本語教室を支援し日本語教育の推進を目指す。 また、県内の日本語教室を訪問しインタビューを行い、特徴ある取組や教え方などの情報をウェブサイトに掲載することで日本語教育に関わる人達のノウハウの共有を図る。 さらに、日本語学習を希望する外国人県民や日本語教育関係者へ情報提供を行うため、日本語教室の実態調査を行い、リスト化し公表する。 これらの事業は、リソースルームボランティアとの協働により実施する。	1,337千円の一部	73千円の一部	891千円	14(B)	リソースルームボランティアの活動内容の見直しを進めつつ、事業を継続していく。	交流
				日本語教育リソースボランティアの運営・活用	・県内日本語教室一覧表の作成 ・はじめての日本語～きいてみよう！はなしてみよう！～ 日時：令和元年7月13日、20日、27日、8月3日 各土曜日 参加者：延べ55名 主な内容：自己紹介・出身地等 ・「初めて習う日本語」の教え方 日時：令和2年2月19日、26日、3月4日、11日(水) 参加者：38名 主な内容：Can-do statementsを使った教室活動	・県内日本語教室一覧表の作成 ・オンライン日本語教室アンケート調査 ・「初めて習う日本語」の教え方 日時：令和2年11月4日、18日、12月2日 各水曜日(オンライン) 参加者：延べ42名 主な内容：Can-do statementsを使った教室活動	・県内日本語教室一覧表の作成 ・はじめての日本語～きいてみよう！はなしてみよう！～ 日時：令和4年1月19日、26日、2月2日、9日各水曜日(オンライン) 参加者：延べ70名 ・「初めて習う日本語」の教え方(予定) 日時：令和4年3月3日、10日、17日、24日各木曜日(オンライン)			
20	国際化の推進役となる人材の育成	(1)若者向けグローバル人材の育成の推進	人材育成	愛知から世界的な視野で活躍できる「グローバル人材」を目指す若者を育成するため、世界の第一線で活動している方々からの体験談や助言等により、若者にとってきっかけづくりとなる講座等を開催する。	177千円	38千円	182千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				自分の未来を描くユース会議の開催事業	令和元年度11月16日(土)、12月7日(土) 参加者：延べ40名 主な内容：15歳～30歳の方を対象として、グローバル化の現状についての講義を行い、グローバル人材について議論するグループワークを実施した	新型コロナウイルス感染拡大のため、未実施	・「みんなで考えるLGBT SUMMIT 2022」 日時：令和4年3月5日(土)(オンライン) 参加者：11名 主な内容：愛知大学と共催で、「LGBT」をテーマにした講座を開催した			
21	国際化の推進役となる人材の育成	(2)国際交流・多文化共生コーディネーター研修の開催	人材育成 安心安全	市町村・市町国際交流協会スタッフ等を対象として、日本語教育・防災・多文化共生・マネジメントスキルなどに関しての企画の作り方・広報の仕方・ボランティアへの対応の仕方など、国際交流や多文化共生のコーディネーターとして必要なスキルを学び、向上させるための研修を開催する。	477千円の一部	219千円の一部	89千円	19(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				国際交流・多文化共生コーディネーター研修の開催	開催日：令和元年12月3日(火) 内容：講演「日系ブラジル人として日本初の日系ブラジル人弁護士になるまで そしてこれからの話」 講師…弁護士 照屋エイジ氏(日系ブラジル人初の弁護士) 参加者：62名	開催日：令和2年12月10日(木) (オンライン開催) 参加者：72名 内容： ①講演「Zoomを使いこなす！基礎～応用まで」 ②「事例発表 Zoomを使った日本語教室」	開催日：令和3年12月9日(木)(オンライン) 参加者数：44名 内容：講演、ワークショップ「ナッジってなに？」			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票No.	施策の柱	施策	重点施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
22	国際化の推進役となる人材の育成	(3)ボランティア研修の実施	人材育成 安心安全	各地域で外国人県民がコミュニティに溶け込む橋渡しの役割を担う登録ボランティア、市町村・市町国際交流協会ボランティアなどを対象として、外国の文化や言語をはじめ、知識や心構えなどを学び、国際交流・多文化共生活動を行うスキルを高めるための研修会を開催する。	477千円の一部	219千円の一部	140千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				ボランティア研修の開催	フランス語講座 「①フランス文化とはじめてのフランス語」 「②フランス語スキルアップ講座」 3/9(月)に開催予定だったが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止	フランス語講座 「①フランス文化とはじめてのフランス語」 「②フランス語スキルアップ講座」 2/8(月)(オンライン) 参加者:①18名、②9名	ポルトガル語通訳・翻訳入門講座 2/1、8、15各火曜日(オンライン) 参加者:延べ31名			
23	国際化の推進役となる人材の育成	(4)英語勉強会の開催	人材育成 安心安全	登録ボランティアなどを対象として、英語をブラッシュアップするための勉強会を開催する。	477千円の一部	219千円の一部	30千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				英語勉強会の開催	開催日: 第1土曜日(全11回) 参加者:延べ67名	開催日: 1/30(土)、2/13(土)、3/13(土) (全3回、オンライン) 参加者:延べ33名	開催日:2/22(火)、3/22(火)(オンライン) 参加者:19名(2/22)			
24	国際化の推進役となる人材の育成	(5)通訳翻訳講座の開催	人材育成 安心安全	語学ボランティア登録者が少ないベトナム語などの言語で活動できるボランティアを増やすため、一般の方々を対象として、語学ボランティアとして活動するために必要な通訳・翻訳技術を学ぶ講座を開催する。	477千円の一部	219千円の一部	158千円	18(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				通訳講座の開催	フィリピン入門講座(教育): 8/8(木)開催 参加者:46名	フィリピン入門講座(教育事情)(オンライン) 講師急病のため中止	ベトナム語入門講座: 11/27、12/11、12/18各土曜日開催 (蒲郡市民会館) 参加者:延べ55名			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
25	国際化の 推進役と なる人材 の育成	(6)やさしい 日本語講座 の開催	人材育成 安心安全 日本語教 育	日本語の不自由な外国人県民の方々にも理解しやすいよう、敬語や漢字熟語などを平易な言葉に置き換えたりした「やさしい日本語」は、災害時はもとより日常生活での外国人県民との意思疎通の効果的なツールとして大変期待されていることから、より多くの県民が、より良い「やさしい日本語」の使い手となることができるよう、一般県民等を対象とした講座を開催する。	477千円の一部	219千円の一部	247千円	19(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				やさしい日本語講座の開催	日時:令和2年1月23日、30日、2月13日各木曜日 内容:「実践！やさしい日本語講座～あなたもやさしい日本語使いになろう～」 参加者:延べ104名	日時:令和3年2月12日、19日、26日各金曜日 (オンライン) 参加者:延べ103名 内容:「実践！やさしい日本語講座」	日時:令和4年1月21日、28日、2月4日各金曜日 (オンライン) 参加者:延べ99名 内容:「令和3年度 実践！やさしいにほんご講座」			
26	国際化の 推進役と なる人材 の育成	(7)外国人 相談窓口及 び各種専門 機関等の相 談員向け研 修会の開催	人材育成 安心安全	近年の外国人相談は、様々な問題が複雑に絡み合い、単独の相談窓口だけでは対応できないものが多くなってきている。また、アジア圏出身外国人の増加を始めとする外国人県民の多国籍化に伴い、各機関・窓口では相談者の言語に対応できなかったり、相談者の母国情報の不足など新たな課題を抱えており、幅広い分野の機関・団体とが相互に連携・協力して問題解決に取り組むことがますます重要となっている。そのため、外国人県民の相談に関わる各行政機関や各種の支援団体等を対象として、外国対応に関するスキルアップを図る研修会を開催するとともに、関係機関等によるネットワーク化を図る。	30,312千円の一部	36,058千円の一部	46,638千円の一部	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	相談
				外国人相談・多文化ソーシャルワーカー事業	第1回外国人相談担当者研修会 参加者:76名 テーマ:「外国人相談のための改正入管法の基礎知識」 第2回外国人相談担当者研修会 テーマ:「外国人相談のための改正入管法の基礎知識」 ※新型コロナの影響により中止	外国人相談担当者研修会 参加者:22名 テーマ:「外国人相談のための改正入管法の基礎知識」 (オンライン)	外国人相談担当者研修会 参加者:49名 テーマ:「外国人への新型コロナウイルスに関する対策と支援」 開催日:令和3年11月15日(金) (オンライン)			
27	国際化の 推進役と なる人材 の育成	(8)地域に おいて外国 人児童生徒 の学習支援 を推進する コーディネ ーターの 育成	人材育成 日本語教 育	市町村、市町国際交流協会職員等を対象として、地域の外国人児童生徒の学習支援活動を推進するコーディネーターを養成する。	249千円	0千円	0千円	6(D)	中止する。	共生
				日本語学習支援基金事業	【1回目】令和2年2月14日(金) 主な内容:講義「外国人につながるりを持つ子どもたちの現状と抱える課題について」 参加者:41名 【2回目】令和2年2月21日(金) 主な内容:講義:「事業の企画・立案・実施のために必要なこととは」 参加者:35名 3回目はコロナにより中止	実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大及び次年度の基金再造成が難しい状況が見込まれ、節減に努め、実施しなかった	当初より計画なし			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
28	国際化の 推進役と なる人材 の育成	(9)子ども 向け日本語 教室で活動 するボラン ティアの養成	人材育成 日本語教育	教員経験者、企業実務経験者、大学生や主婦などの幅広い層の県民を対象として、外国人児童生徒の現状や日本語教室の活動を理解するための講座を開催し、地域の外国人児童生徒向け日本語教室で活動するボランティアを育成する。	1,674千円の一部	1,916千円の一部	1,245千円	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	共生
				外国人児童生徒日本語教育推進事業	新城市・あま市と共催(大人向け日本語教室ボランティア入門講座と同時開催) 開催日:新城市:令和元年9月2日、9日、16日 各月曜日 参加者:22名 あま市:令和元年11月30日、12月7日、14日 各土曜日 参加者:27名 主な内容:講義「地域の日本語教室とは」、講義「子ども向け日本語教室とは」、活動報告、ワークショップ ほか	豊田市・武豊町と共催(大人向け日本語教室ボランティア入門講座と同時開催) 開催日:豊田市:令和2年11月6日、13日、20日 各金曜日 参加者:延べ58名 武豊町:令和2年11月29日、12月6日、13日 各日曜日 参加者:延べ62名 主な内容:R1と同じ	津島市・半田市と共催で開催予定(大人向け日本語教室ボランティア入門講座と同時開催) 開催日:津島市:令和3年10月9日、16日、30日 各土曜日 参加者:延べ53名 半田市:令和3年12月5日、12日、19日 各日曜日 主な内容:R1と同じ 参加者:延べ63名			
29	国際化の 推進役と なる人材 の育成	(10)子ども 向け日本語 教室で活動 するボラン ティアのスキルアップ	人材育成 日本語教育	外国人児童生徒に日本語指導や学習支援の活動をしているボランティア、特に活動して間がないボランティアを対象として、実際の教室活動で役立つ知識とノウハウの修得を目的とした研修を開催する。	1,674千円の一部	1,916千円の一部	260千円	19(A)	No.16「(8)学校と外国人児童生徒向け日本語教室との連携促進」の事業目的を統合し、学校関係者も対象としながら引き続き、事業を継続していく。	共生
				外国人児童生徒日本語教育推進事業	開催日:令和2年2月6日(木)、20日(木) 内容:講義「外国につながるのある中学生・高校生への日本語支援について」、「外国につながるを持つ子どもの発達障害の捉え方」 参加者:45名(2日間で)	2か所で研修を開催(オンライン) 名古屋市:開催日:令和3年2月5日(金) 内容:講義「日本語ゼロレベルの子どものための初期指導」 参加者:24名 知多市:開催日:令和2年1月30日(土) 内容:講義「外国人児童生徒のこころのケア」 参加者:32名	長久手市国際交流協会・東海市国際交流協会と共催で開催(オンライン) 長久手市:開催日:令和3年10月1日(金) 内容:講義「外国人児童生徒への日本語支援について」 参加者:19名 東海市:開催日:令和3年9月11日(土) 内容:講義「オンライン授業のコツ」 参加者:35名			
30	国際化の 推進役と なる人材 の育成	(11)大人向け日本語教室で活動するボランティアの養成	人材育成 日本語教育	日本語教育ボランティア初心者を対象として、ボランティア活動を行うに当たっての心構えや日本語の教授法等を学ぶ「日本語ボランティア入門講座」を開催し、地域の大人向け日本語教室で活動する日本語ボランティアを育成する。	1,337千円の一部	527千円の一部	548千円	19(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				日本語ボランティア入門講座の開催	開催日:令和元年度10月9日、16日、23日、30日、11月6日、13日、20日、27日 各水曜日 主な内容:日本語ボランティアの基礎について学ぶ講座 参加者:延べ236名	開催日:令和2年10月1日、8日、15日、22日、29日、11月5日、12日、19日 各木曜日 主な内容:R1と同じ 参加者:延べ167名	開催日:令和3年9月2日、9日、16日、30日、10月7日、14日、21日、28日 各木曜日(オンライン) 主な内容:R1と同じ 参加者:延べ157名			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である) 表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名										
個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
31	国際化の 推進役となる 人材の育成	(12)大人向け日本語教室で活動するボランティアのスキルアップ	人材育成 日本語教育	地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを対象として、日本語教授法の技術向上やボランティアの確保等、教室運営に役立つノウハウを学ぶ「日本語ボランティアスキルアップ講座」を開催し、ボランティアのスキルアップを図る。	1,337千円の一部	527千円の一部	177千円	20(A)	引き続き、事業を継続していく。	交流
				日本語ボランティアスキルアップ講座の開催	開催日:令和元年7月29日、8月5日(月) 主な内容:愛知県内で活動する日本語ボランティアの方を対象に、「助詞」をテーマとした講義を実施 参加者:延べ70名	開催日:令和2年10月26日、11月9日(月) 主な内容:愛知県内で活動する日本語ボランティアの方を対象に、「自動詞・他動詞」「使役・受身・使役受身」をテーマとした講義を実施 参加者:延べ43名	開催日:令和3年7月13日、27日(火)(オンライン) 主な内容:愛知県内で活動する日本語ボランティアの方を対象に、「助詞」「条件表現」をテーマとした講義を実施 参加者:延べ58名			
32	国際化に関する調査 研究、情報提供	(1)調査研究の推進	人材育成 安心安全 日本語教育	国際交流・国際協力、多文化共生に関する協会活動を効果的・効率的に実施するため、地域の状況や県民ニーズの把握などに努めるとともに、国際化に関する各種統計やNPO/NGOや国際関係機関等の情報集約を図ること等により、地域の国際化のシンクタンクの機能を果たす。また、随時、各種の調査・研究等を行い、様々な機会を通じて情報提供を行う。	42千円	40千円	108千円	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	企画情報
				調査研究事業	県内民間団体・日本語教室に関する情報収集や国際化に関する統計データの作成、姉妹連携に関する調査等を実施	県内民間団体・日本語教室に関する情報収集や国際化に関する統計データの作成、姉妹連携に関する調査等を実施	県内民間団体・日本語教室に関する情報収集や国際化に関する統計データの作成、姉妹連携に関する調査等を実施 LEADプラン中間評価に係る調査を実施、結果を公表			
33	国際化に関する調査研究、 情報提供	(2)図書コーナーでの情報提供機能の強化	人材育成 安心安全 日本語教育	日本人と外国人がともに異文化理解に関する情報収集を行える場である図書コーナーにおいて、国際理解・多文化共生関連及び日本語習得に関する書籍・資料を中心に収集し、引き続き情報の蓄積・提供を行う。 特に、アジア圏の外国人県民が増加傾向にあるため、アジアを紹介する図書やアジアの国の言語で書かれた図書の充実を図る。また、当協会を訪れる外国人県民の多くが日本語学習者であるため、日本語教育に関する教材や日本の文化、生活習慣について学べる図書、日本の災害や防災について紹介する図書などを優先して収集する。 さらに、単に図書を収集するだけでなく、全国の国際交流協会等が作成した多文化共生に関する資料等(非売品など)、先進的な取組に関する資料を収集し、情報提供を行う。	2,582千円	2,576千円	2,624千円	12(B)	より多くの人に利用していただけるよう、使いやすい図書コーナーを目指し、事業を継続していく。	企画情報
				図書コーナー等の運営事業	開館日:266日(前年度比91.1%)※コロナにより3月閉館 図書室利用者数:7,041人(前年度比129.5%) 貸出冊数:1,382冊(前年度比180.4%) 貸出人数:569人(前年度比157.8%)	開館日:245日(前年度比84.2%)※コロナにより4、5月閉館 図書室利用者数:2,976人(前年度比50.8%) 貸出冊数:939冊(前年度比81.4%) 貸出人数:382人(前年度比82.0%)	開館日:221日 図書室利用者数:2,813人(前年度比122.6%) 貸出冊数:796冊(前年度比111.5%) 貸出人数:371人(前年度比131.6%) ※2月末時点(前年度比は同時点で比較)			

愛知県国際交流協会事業推進計画2023(AIA“LEAD PLAN”) 中間評価評定表(事業別まとめ)

【内部総合評価の点数について】15点以上:A(現状のまま事業継続) 11～14点:B(改善を検討した上で事業継続) 8～10点:C(事業休止も視野に入れ要改善) 7点以下:D(事業休・廃止を含め見直しが必要である)
表中「施策の目標」は、LEADプラン記載の目標。下段の事業名は予算上の事業名

個票 No.	施策の柱	施策	重点 施策	施策の目標	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	内部総合評価	評価結果	担当
34	国際化に関する調査研究、 情報提供	(3)インター ネット等の 活用による 情報発信機能の強化	人材育成 安心安全 日本語教育	国際交流・国際協力、多文化共生に関する情報を誰でも手軽に入手できるように、インターネット、機関誌等様々な媒体を活用して情報発信するとともに、効果的なSNSなどの手段を利用するなど、情報発信機能の充実を図る。 また、引き続き外国人県民にとって役に立つ生活情報などの提供を行うとともに、多言語での情報提供サービスの充実を図る。	6,198千円	7,600千円	6,951千円	15(A)	引き続き、事業を継続していく。	企画情報
				国際交流情報提供事業	機関誌やハンドブックの発行、協会WEBサイト・Facebookによる協会の情報発信	機関誌やハンドブックの発行、協会WEBサイト・Facebookによる協会の情報発信 ルーターやWEBサーバーの更新などの、情報発信に必要な環境整備	機関誌やハンドブックの発行、協会WEBサイト・Facebookによる協会の情報発信 WEBサイトの一部リニューアルやLANケーブルの交換を実施			
35	国際化に関する調査研究、 情報提供	(4)外国人 県民向け生活情報冊子の発行等による情報提供の推進	安心安全	外国人県民が日常生活に必要な基礎的な情報を集めた冊子を多言語で作成し、市町村・市町国際交流協会やNPO/NGOを始めとする関係機関・団体へ配布し、外国人相談や支援がより円滑に行われるような環境の整備を図る。 なお、現在、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語に日本語併記で発行するとともに、併せてウェブサイトでも掲載しているが、より多くの外国人県民がアクセスしやすい形式での生活情報の提供・発信方法を検討する。また、アジア圏出身の外国人県民が増加していることから、フィリピン語／タガログ語やベトナム語など、アジア圏の言語展開について検討する。	505千円	346千円	303千円	16(A)	引き続き、事業を継続していく。	相談
				多言語による外国人向け生活情報提供事業	「2020年版愛知生活便利帳(ポルトガル語・スペイン語)」発行(R2.03) 印刷:1,470部	「2021年版愛知生活便利帳(英語・中国語)」発行(R3.03) 印刷:1,000部	「2021年版愛知生活便利帳(ポルトガル語・スペイン語)」発行予定 印刷:900部			
36	国際化に関する調査研究、 情報提供	(5)国際交流協会活動推進会議等の開催	人材育成 安心安全 日本語教育	市町国際交流協会が集まり、組織運営や国際交流・多文化共生に関するテーマについて、効果的な活動の実施方法や課題解決に向けたアイデアを出し合う会議を開催することにより各種情報を共有するとともに、ネットワークの連携強化を図る。 また、特に災害時の支援協力を重点として、東海北陸地域や全国の地域国際化協会との協議会に参画し、一層の広域連携を図る。	82千円	10千円	68千円	17(A)	引き続き、事業を継続していく。	企画情報
				国際交流協会活動推進会議等の開催	第1回 開催日:平成31年4月24日 参加者:42名 第2回 開催日:令和元年12月3日 参加者:29名	第1回 コロナにより中止 第2回 開催日:令和2年12月10日(オンライン) 参加者:37名	第1回 開催日:令和3年4月23日(オンライン) 参加者:37名 第2回 開催日:令和3年12月9日(オンライン) 参加者:37名			